新年のごあいさつ

謹賀新年

みよし市長

おやま　たすく

小山　祐

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、清々しい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より市政運営に対し、深いご理解と温かいご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の11月に行われました市長選挙におきまして2期目の任期を務めさせていただくこととなりました。皆さまの日頃からの市政に対するご理解とご協力に心から感謝申し上げますとともに、新たな任期においても皆さまの期待に応えられるよう全力で取り組んでまいります。昨年を振り返りますと、年末にはマグニチュード7.5の青森県東方沖地震が発生し、青森県八戸市では震度6強が観測されました。本市では、近い将来発生が危惧されている南海トラフ地震への備えを強化しておりますが、市民の皆さまにもご家庭での減災への取り組みや食料品、生活用品などの備蓄、ご家族での話し合いなど日頃から出来る備えをぜひ行っていただきますようお願いいたします。また、物価高騰や人手不足などが皆さまの暮らしにも影響を与える中、本市を取り巻く環境も決して容易なものではありませんでしたが、本市においては先進的な施策を創設し、既存の施策も充実するなど、地域の直面する課題に向き合い、支え合い、知恵を出し合いながら前を向いて歩み続けてこられたのは、まさに市民の皆さま一人ひとりの力によるものであり、改めて本市の持つ潜在力と可能性を実感した一年でありました。

本年も防災・減災対策や高齢者・子育て支援の充実、教育や中小企業、農業の持続的な発展を支える施策を着実に進め、引き続き市民の皆さまが主役の市政運営の実現に全力で取り組んでまいります。これからも市民の皆さまの声を大切にし、対話を重ねながら、市政を進めてまいります。

新しい年が、皆さまにとって希望と笑顔に満ちた一年となりますよう心から祈念するとともに、本年も変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、清々しい初春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。併せて、日ごろより市議会活動に対して温かいご理解、ご協力を賜り、市議会を代表し厚くお礼申し上げます。昨年もさまざまな行事にお招きいただき、ありがとうございました。地域の中で元気に活動される皆さまに刺激をいただき、我々議員一同も議会活動により一層励むことができました。

さて、本市議会は昨年5月の臨時会にて各委員会の委員編成を行い、新体制となりました。各委員会では、それぞれ新たにテーマを定め、昨年7月から11月にかけて先進地の取り組みについて行政調査を行いました。また、議会改革推進特別委員会では「(仮称)みよし市議会ハラスメント防止条例」の制定に向けて調査研究を行っており、令和7年度中の制定を目指して活動に取り組んでおります。さらに、今年度から新たに「まちづくり特別委員会」を設置いたしました。各種産業の振興に加え、住宅供給都市として調和のとれた土地利用が図られてきた本市の地域特性を生かし、規制や誘導などバランスの取れた計画的なまちづくりの推進に向け、調査研究を進めております。市議会として市民の皆さんの声や本市の現状を踏まえ、本市の市政にも反映させられるよう精進していきます。

また市議会は開かれた議会を目指し、議会広報やホームページで、議会での審議内容や一般質問、委員会の活動状況などを発信しております。市民の負託にお応えするため、市民目線で市政を厳しく監視するとともに、市民の皆さんの声を市政に反映させ、さらに住みよいまちとなるよう議会活動に全力を尽くしてまいります。

本年が皆さまにとって、希望に満ち、笑顔輝く素晴らしい年となることを心より祈念するとともに、「ふるさとみよし」のより一層の発展を祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

みよし市議会議長

ふくやす　きんのすけ

福安　金之助

特集1

2022～2025 みよし市の 4年間の取り組みを振り返る

昨年11月のみよし市長選挙の結果、小山祐市（おやまたすく）長が再任されました。2期目の就任に当たり、これまでのみよし市の主な取り組みを振り返ります。

子育て支援

県内初！

- 保育園・幼稚園・小学校・中学校の**給食費を全て無償化**。小・中9年間で**約63万円**の負担減
- 出生から高校生世代までの**医療費を無償化**。1人当たり平均で年間**約3万9,000円**の負担減
- 大学生などの**入院費を無償化**（市外・県外に居住する大学生も対象）。1人当たり平均で年間**約5万6,000円**の負担減
- **第一子の保育料**を国基準の半額に減額。**約124万円**の負担減　● **第二子以降の保育料**を無償化。**約48万円**の負担減
- **不妊治療費**の一部を助成（一般不妊治療は**上限10万円**、生殖補助医療は**上限20万円**）
- 市内産科医療機関で**無痛分娩**により出産した人を対象に、その費用の一部を助成（**上限10万円**）　東海地方初！
- **産後ドゥーラ利用**料の**2分の1**を助成、**産後ドゥーラ養成**講座受講料および認定料の2分の1を補助（**上限20万円**）

医療・福祉

- **介護・福祉人材の育成・確保**のため、資格取得などの研修受講費用や試験受験料の4分の3を補助（**上限20万円**）
- 市内移動または豊田厚生病院まで**1回300円**で利用できる**おでかけタクシー**を開始
  （バスの利用が困難な65歳以上の高齢者、要介護・要支援者、障がい者、妊産婦）
- 50歳以上を対象に**帯状疱疹ワクチン**の助成を開始（生ワクチン**4,000円×1回**、不活化ワクチン**1万円×2回**）　県内トップクラス！
- 市内へ**居宅介護支援事業所を新設**する法人に対し、新設にかかる経費を補助（**上限50万円**）

教育・学校

- 市内全ての小・中学校の**体育館にエアコンを設置**（災害避難所となる体育館はLPガス式を採用）
- 市内全ての小・中学校内の**フリースクール**運営体制の整備、フリースクール通所にかかる**交通費の一部**を補助
- 小学校内の教室を活用した**放課後こども教室（わくわくたいけんルーム）**を開設
- **専門相談員**の配置時間数を**約2倍**に拡大（令和3年度比）、**スクールソーシャルワーカー**の設置

環境・産業

- 市内の中小企業の従業員を対象に、**奨学金返済支援**額の半額を補助（**上限102,000円／年**）
- **宅配ボックス**購入および設置費の2分の1を補助（**上限15,000円**）
- 市内企業で働く**非正規社員の正社員化**への支援金を創設。約2年間で延べ**140人程度**が助成金を活用
- ゼロカーボンシティの実現に向けて、給食配送トラックに**水素トラックを導入**　東海地方初！

安心・安全

- 災害支援物資・機材を集約する**拠点防災備蓄倉庫**を、三好高校の南側道路向かいに新設
- 能登半島地震を受け、**災害備蓄品・備蓄量の見直し**を実施。飲料水を**約3.5倍**、食料を**約1.7倍**（令和6年度比）
- 災害時のトイレ対策として**災害用移動型バリアフリートイレトレーラー**を導入
- 市内に居住する人を対象に、**家庭用防犯カメラ**購入費の5分の4を補助（**上限10万円**）　県内トップクラス！

昨年のみよしのニュース

特集2

2025年の本市は、新たな地区拠点施設みなよし交流センターの開館や燃料電池小型トラックの給食配送の導入など、未来志向の取り組みが注目される一年となりました。さまざまな出来事を、写真とともに振り返ります。

1 給食 de SDGsフェスタ(1月25日)
2 新春みよし市マラソン駅伝大会(1月26日)
3 出張木曽おもちゃ美術館(2月19日)
4 水上でお花見(3月29・30日)
5 スプリングスプリントカヌー競技大会(4月26・27日)
6 梅の収穫(5月14日)
7 小学生による田植え体験(6月4日)
8 日本子育て支援大賞2025を受賞(7月14日)
9 アジア競技大会のラッピングトラックお披露目(7月23日)
10 犯罪被害者等支援の連携協力に関する協定締結式(8月1日)
11 三好池まつり(8月2日)
12 被爆アオギリ二世の植樹(8月6日)
13 第31回三好いいじゃんまつり(8月23日)
14 人間国宝 坂東玉三郎(ばんどうたまさぶろう)さんの公演(9月13日)
15 みなよし交流センターの開館(10月1日)
16 みよしスポーツ祭2025(10月12日)
17 三好八幡社 秋の大祭(10月19日)
18 産業フェスタみよし2025(11月2日)
19 給食配送用FC小型トラックの出発式(11月14日)
20 みよし音楽祭(12月7日)